

## 「嘉麻市立図書館基本計画（案）」に対するパブリックコメントの結果

### 1. パブリックコメントの実施状況

- (1) 意見の募集期間 平成31年1月4日（金）から平成31年2月4日（月）まで
- (2) 意見提出者 3名
- (3) 提出方法の内訳 持参 3名 ※投函箱に投函されたものを含む。
- (4) 提出者区分の内訳 市内 3名（市内に居住する人）

### 2. 意見の概要と市の考え方

No.	頁	ご意見の概要	市の考え方	修正
1	全体	各地区の図書館は、各地区住民の心の拠り所となっているため、住民の宝として維持していくべきだと思う。そのためには、必要となる経費を少しでも軽減できるよう、業務の一部を利用者に無償ボランティアとして委ねたら良いと思う。	図書館といたしましても、地域と共にある図書館づくりを目指しております。そこで、今年度は図書館応援ボランティア養成講座を開催することとしています。多くの皆様にご参加いただき、今後も地域の皆様に支えていただきながら、より多くの方々が気軽に楽しくご利用いただける図書館づくりに努めてまいりたいと考えております。	無
2	全体	山田図書館横のカフェを常時オープンして、子どもから高齢者までが集いゆっくり過ごすことができる場所にしてはいかがか。	山田図書館横のカフェは、障がい児・者を持つ家族の会（トロッコの会）が、障がいのある子どもの就労訓練の場として、毎週金曜日・土曜日に開催されています。カフェの開催は、トロッコの会が主体的に開催されていますので、現状では何とも言い難い状況です。山田図書館周辺には、山田支所の設置もされ、今後更なる賑わいが予想されることから、ご要望の「子どもから高齢者までが集いゆっくり過ごすことができる場所」の提供につきましては、一体施設であります山田生涯学習館も併せて今後検討してまいります。	無

3	1	<p>【計画策定の背景について】</p> <p>13行目「このような中、・・・乳幼児から高齢者に至るまでの・・・」に「障がいのある人もない人も（有無にかかわらず）」の文言を付け加えるべきではないか。</p>	<p>1頁の「乳幼児から高齢者に至るまでの全ての市民」としておりますのは、子ども・高齢者・女性・男性・障がいの有無・様々な要件を全て含めた中で「全ての市民」という表現にしております。3頁及び30頁では、障がい者サービスに特化した記載内容としておりますので、強調の意味で「障がいの有無に関わらず」と記載しておりますので、ご了承ください。</p>	無
4	1	<p>【図書館基本計画の目的】</p> <p>1行目「本市にふさわしい施設」とは、同規模の他市との比較統計や財政規模で算出されたものと思うが、市民の健康で文化的な生活を推進するために図書館が果たす役割を重要と思うならば、思い切った財政出動も必要だと思う。</p>	<p>貴重なご意見として重く受け止めています。非常に厳しい財政状況の中、限られた財源の中、いかに効率的に効果的な施策を推進していくかを考えていく必要があり、市全体の施策の中で、今後検討させていただきま</p>	無
5	1	<p>【図書館基本計画の目的】</p> <p>3行目「併せて、地域や学校との連携を更に深め」とは、今までのような校区役員との連携ではなく、校区（地域）住民すべてを対象とした事業と理解すれば良いのか。</p>	<p>ご理解いただいているとおりです。学校図書館と公共図書館の統合を目指しておりますので、地域の方々や児童生徒が触れ合う機会も増え、地域の方々には、様々な形でご協力いただく機会を増やしてまいりたいと考えています。</p>	無
6	1	<p>【図書館基本計画の目的】</p> <p>3行目「図書館が地域コミュニティ活性化の核となりえる施設」となるために基本計画を策定すると謳っているが、施設縮小、人員削減のための理由づけのように思える。それ故、明確に「行財政改革のため、図書館を核とした新しい地域コミュニティを構築する」としてはどうか。</p>	<p>嘉麻市におきましては、それぞれの所管部署において、様々な視点から地域コミュニティの活性化に向けた取組を進めています。図書館においても、図書館がその一翼を担うことができる施設となるよう施設整備や取組を進めていくこととして目的を定めていることから、図書館施設の再整備についても嘉麻市の取組の一つとして考えています。この度の基本計画策定の背景には、行財政改革</p>	無

			の一環として施設数の検討を行う必要があることは否めませんが、図書館としましては、経費削減及び人員削減の視点に止まらず、形態は変わっても、できる限り地域の方々にとって利用しやすい施設整備を図り、地域住民の読書活動を支援し、併せて、学校図書館と公共図書館の統合により、地域の方々と児童生徒が触れ合う機会も増えることで、今までになかった、新たな地域コミュニティが形成されることを期待しているところです。	
7	3	1 図書館施設の設置状況 10行目「更には、2013（平成25）年・・・を遵守し・・・」の後に、平成29年10月に施行された福岡県条例を付加すべきではないか。	ご意見ありがとうございます。計画案を以下のとおり修正します。 10行目「更には、2016（平成28）年4月に施行された「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」及び2017（平成29）年10月に施行された「福岡県障がいを理由とする差別の解消の推進に関する条例」を遵守し、・・・」	有
8	3	1 図書館施設の設置状況 11行目「合理的配慮」と記載されているが、「障がい者差別解消法・県条例」においては、公的施設では「障がい者等からの差別や不合理を指摘される以前に」合理的配慮を行う必要があるとされている。この見地からいえば、現状は知的・発達障がい者に対する配慮は十分だろうかと疑問を呈する。一般的に、知的・発達あるいは精神障がい者への理解は乏しい。福岡県手をつなぐ育成会では、知的・発達障がい者理解の出前講座（疑似体験）を開講しているので、市長を先	貴重なご意見ありがとうございます。本市においては、これまで様々な形で研修を行っております。今後も継続的な研修が必要と考えていますので、検討課題とさせていただきます。	無

		頭に市議会議員、市管理職等受講してはどうか。		
9	16	IV 嘉麻市を取り巻く状況 厳しい財政状況の中、行政改革、公共施設の縮減、市職員の削減、補助金の見直し等々については理解はできる。しかし、高齢者の御祝金・商品券なども廃止し、誰もが安心安全な社会保障の充実を図る方が有効ではないかと思う。	貴重なご意見ありがとうございます。非常に厳しい財政状況が続く中、限られた財源を活用し、より効率的に効果的な施策を推進してまいりますので、市全体の施策の中で、今後検討させていただきます。	無
10	16	豊かな心を育み、且つ、有能な人材育成には立派な図書館より、有能な職員(司書)が必要であることを忘れてはならない。人件費が負担だから削減する、非常勤雇用にするといった安易な考えではなく、市民の誇れる市民の図書館にするためには信頼構築と人材育成の観点は重要である。稲築図書館の職員(司書)の創意工夫ある事業を目の当たりにし、有能な人材であると確信し、信頼できる。	貴重なご意見ありがとうございます。今後も、与えられた環境の中で、司書一人ひとりが利用者の要望に耳を傾け、それを業務に生かした取組を行い、地域の皆様の読書活動を支援し、生涯学習の場として、より快適に安心して利用できる図書館づくりに努めてまいります。	無
11	21 ～ 22	1 基本的な考え方 25 行目「学校と地域の相互交流を促進する・・・社会教育及び社会体育施設を併設した複合型の・・・」については基本的には賛成であるが、以下の疑問点がある。 ①小中一体型校施設であれば、地域利用と中学校の部活動との関係はどうか。 ②校内の多目的ルームやパソコン教室などの施設利用は可能か。 ③体育施設、多目的ルーム、パソコン教室利用に伴う管理はどうか。	ご質問の内容については、今後、学校及び中学校区小中一体型校整備協議会並びに教育委員会の関係各課が綿密に情報共有しながら、様々な視点において協議検討を行ってまいります。	無

		<p>④学校管理者である校長及び教職員の理解は得られるのか。</p> <p>⑤学校司書との関係はどうなるのか</p> <p>⑥図書館にはキッズルームや会議室は併設するのか。</p> <p>⑦併設する場合の年間施設利用計画等、誰が主体的に実施するのか。</p> <p>⑧児童生徒の安全対策、不審者の侵入の防止策等</p> <p>⑨教育現場や児童生徒の置かれた現状、あるいは下校時間等の学校管理の問題</p>		
12	22	<p>安易な経費・人員削減のための計画なら、更なる議員定数の削減や報酬・政務調査費廃止等を取り組んでいただきたい。</p>	<p>本計画は、単に経費削減及び人員削減のためではなく、学校図書館の更なる充実と、地域の方々にとって利用しやすい施設(図書館)となるための施設整備を行うことで地域住民の読書活動を支援していくことを目的として計画を策定しています。</p>	無
13	22	<p>地域間格差是正をするなら行政区に対する不平等感を早く無くして欲しい</p>	<p>合併により、市民の皆様が日常生活の中で地域における不平等感を感じておられることとは存じますが、本計画では、本市の限られた財源の中で、より効率的で効果的な施設整備及び運営方法とすることにより、でき得る限り地域間格差を生じない図書館サービスの推進を図ってまいることとしています。</p>	無
14	21 ～ 22	<p>①地域の知の拠点施設になり得るのか。実際は学校の図書室になるのではないか。</p> <p>②地域住民が身近で利用しやすく、気軽に利用できるものになるのか。</p> <p>③学校敷地内に建設した場合、児童生徒の安全管理等にも配慮する必要</p>	<p>ご質問の内容については、今後、学校及び中学校区小中一体型校整備協議会並びに教育委員会の関係各課において、協議検討を重ね、校舎全体のゾーニングを含めて、児童生徒の安全管理を十分考慮し、併せて、地域住民の方が気兼ねなくご利用できる施設</p>	無

		があるのでは。	整備及び運営のための協議を重ねてまいります。	
15	21 ～ 22	<p>①図書館の運営主体はどうか。もし、学校長が管理運営するのであれば「図書館の自由に関する宣言」との整合性がとれなくなるのではないか。</p> <p>②古い書籍には、死語や俗称語が使われているものが存在する。その言葉が一人歩きしないよう、あるいは差別の助長に繋がらないように配慮する必要がある。</p>	<p>図書館の運営主体については、現在検討を行っております。この度の計画の中では、学校図書館と公共図書館を統合することにより、学校図書館の機能をより充実したものとし、児童生徒の読書習慣の涵養を図り、併せて公共図書館として地域住民の読書活動を支援していくこととしています。公共図書館の重要な使命であり、「図書館の自由に関する宣言」の中にも定められている市民の知る権利を保障するため、地域の皆様の求める資料を提供することが必要と考えています。しかしながら、学校施設内に配架する資料については、青少年健全育成の観点から、一定の配慮が必要であり、学校併設施設に配架することが難しい資料については、市内に存する他の公共図書館に蔵書している資料を各図書館窓口を通じて地域の皆様に提供することとします。</p>	無
16	27	<p>Ⅵ 今後の図書館サービスの充実</p> <p>1. 基本理念</p> <p>4行目「乳幼児から高齢者に至るまでのすべての市民」に「障がいのある人もない人も（有無にかかわらず）」の文言を付け加えるべきではないか。</p>	<p>「乳幼児から高齢者に至るまでの全ての市民」としておりますのは、子ども・高齢者・女性・男性・障がいの有無・様々な要件を全て含めた中で「全ての市民」という表現にしております。</p>	無
17	30	<p>②障がい者サービスの充実</p> <p>館内施設のバリアフリー化、ユニバーサルデザイン化はもちろん、職員の知的・発達あるいは精神に障がいのある人への接し方のスキル向上が</p>	<p>施設整備のバリアフリー化、ユニバーサルデザイン化については、今後の学校施設整備計画の中で協議検討を進めてまいります。ご存知のとおり、図書館には日々多くの利用者が</p>	無

		強く求められると思う。	あり、障がいの有無に関わらず様々な利用者がおられます。すべての利用者の皆様に快適に図書館をご利用いただくため、定期的な研修を重ね、職員のスキルアップを図ってまいります。	
18	全体	市民に読書をどのように勧めるのが、今後の図書館の継続にとって最大の取組だと考える。そのため、多くの年齢層の人に図書館に足を運ばせるための検討が必要である。 ①年齢層に合った本の選択方法 ②市民が読みたい本をどのように知るのか、探すのか。 ③読んだ本の内容、感想等をどのように他者に知ってもらえるのか、又は、知らせるのか。	ご提案ありがとうございます。 ①各図書館には、一般書及び児童書等それぞれに担当者を置き、毎月、担当者会議を開催し、協議検討しながら選書（本の選択）を行っています。今後も、年齢層やジャンル等に偏りが出ない選書に努めてまいります。 ②図書館窓口において利用者の皆様との円滑なコミュニケーションを図り、また、資料の予約・リクエスト状況等を十分考慮しながら、利用者ニーズの把握に努めてまいります。 ③図書館が開催する「ラクラク読書会」で、読書の楽しさを多くの人と共有する成人講座を開催しています。微力ながら図書館としても取組を行っていますが、今後も他の図書館での取組等を参考にしながら講座内容を検討してまいります。	無
19	全体	嘉麻市の小学校・中学校・高校に図書館のPRを行うことが必要である。	市内の保育所・小学校には図書館イベントのチラシ等についても施設等を通じて配布しているところです。今後も多くの機会を通じてPRしてまいります。	無
20	全体	学校の授業の一助となることを教育等の中で取り組んでもらうのはいかがか。	市内の小・中学校において、学校の理解を得て、貴重な授業時間を割いていただき、子ども達に本との出会いや読書の楽しさを伝える取組（ブックトーク）を公共図書館司書が行っています。また、各地域の小学校にお	無

			いては、読書活動支援として、公共図書館司書と地域ボランティアの方々が一緒になって、朝のホームルームの時間を利用して、読み聞かせを行っております。今後も取組を充実してまいります。	
21	全体	広報紙等を見ても図書館の記事はあまり目立っていないので、対策を検討すべき。	広報紙については、今後も創意工夫をもって、市民の皆様の目に留まるような紙面構成を検討してまいります	無